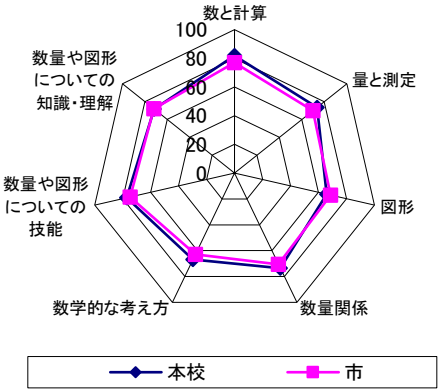


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	81.9	77.0	70.4
	量と測定	73.6	69.8	68.5
	図形	65.8	68.6	72.4
	数量関係	73.6	70.6	60.4
観点別	数学的な考え方	66.9	63.0	54.8
	数量や図形についての技能	77.2	74.7	67.3
	数量や図形についての知識・理解	71.7	72.0	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善 ○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○「小数の計算」「分数の計算」の平均正答率は、市の平均よりも高い。特に、小数第一位×小数第一位の計算と分数÷分数(約分1回)の正答率は100%で成果が見られる。 ●分数のわり算の文章題の平均正答率は、市の平均を下回っている。基準量、割合、比較量を表す図の理解と分数の乗除の意味の理解に課題が見られる。	・数量の関係を捉えることができるよう、テープ図などを活用しながら、比較量、基準量、割合を把握し、演算決定と立式をする力を育みたい。 ・分数の除法について計算方法を確認し単位量当たりの大きさが、何を意味するのかを理解できるように復習をする。
量と測定	○「単位量あたりの大きさ・速さ」の平均正答率は、市の平均よりも高い。速さ、時間、道のりの関係について、一定の成果が見られる。 ●「三角柱の体積」「単位量あたりの考え方」の平均正答率は、市の平均を下回っている。課題の解決の理由を記述することに課題が見られる。	・課題を解決するために、何が根拠として必要になるか、解決の見通しを明確にしてから説明を書き始めるように指導する。 ・多角形をいろいろな角度で観察し、底面積と高さの関係を捉えさせる。
図形	○「正多角形・合同・円周」の平均正答率は、市の平均よりも高い。角や辺に目をつけて図形を考えることに一定の成果が見られる。 ●「合同な三角形」「線対称な図形」の平均正答率は、市の平均を下回っている。合同な三角形の作図や線対称の対応する点を見つけることに課題が見られる。	・対称な図形を考えるときは、対象の軸や対象の中心を実際にかきこんで考えさせる。 ・正確に作図ができるよう、辺の長さや角の大きさに着目させるとともに三角定規、分度器、コンパス等を十分に活用させる。
数量関係	○「割合と比」「比例・反比例」の平均正答率は、市の平均よりも高い。割合と比の表し方、比例や反比例の表などから関係式を立てることに一定の成果が見られる。 ●「文字の式」「帯グラフ」は、市の平均を下回っている。文字を使って2つの数量の関係を式に表すことと帯グラフから割合を読み取ることに課題が見られる。	・帯グラフの読み方について割合を活用して読み取る指導を重視する。 ・簡単な文章題の値を文字に置き換える活動を通して2つの数量の関係性に着目させ、文字の式に表すことができるよう指導する。